

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【外国語】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 単元の配列については、身近なことを伝え合う学習から世界と日本とのつながりへと、徐々に表現する対象を広げて学習を進めることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Your Turn」では、導入で扱った音声を繰り返し聞く活動から、学習した語彙や表現を使い、ペアやグループでのやり取りの活動へ段階的に学習する場を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、教科書の登場人物たちの会話映像で、児童が場面や状況を確認し、言語活動に取り組むことで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「OurGoal」で活動のモデルを見て見通しをもたせ、段階的に言語活動を繰り返しながら「Your Goal」において積極的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p61</p> <p>6 年 p62, 64, 65</p> <p>6 年 p72</p> <p>6 年 p60, 65</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 単元の配列については、複数の「Lesson」の間に「Let's Check」を設定し、自分の成長や課題を振り返りながら取り組むことで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各単元に「GOAL」を設け、毎時間、相手意識、目的意識をもって、「Let's Try」「Activity」など、他者とのコミュニケーションを繰り返し行うことができる言語活動を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、語句や表現の音声やリズムを確かめるために、児童が「Song Box」や「Chant Box」を活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Let's Watch and Think」で活動のモデルを見て「Let's Play」で表現に慣れ親しみ、「Let's Try」「Activity」「Let's Write」において、段階的に言語活動を繰り返しながら自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p44, 45</p> <p>6 年 p15～21</p> <p>6 年 p70</p> <p>6 年 p16, 17</p>

15 三省堂	<p>(1) 単元の配列については、「HOP」「STEP」「JUMP」の流れでインプットの活動から目的に応じて発表する活動へ学習を深めるようにすることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各Lessonにおいては、それまでに学習した表現を復習できる活動を設定したり、既習事項を生かしてやり取りできる「Small Talk」を設定したりするなど、学びのつながりがある学習ができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、やり取りや発表のイメージをつかむためのモデル動画を児童が繰り返し視聴して活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「HOP」で会話に必要な学びの見通しをもたせ、「STEP」のPartごとの小さなゴールを達成しながら「JUMP」で表現を高めていくことができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p4, 5</p> <p>6 年 p43</p> <p>5 年 p14</p> <p>6 年 p41</p>
17 教育出版	<p>(1) 単元の配列については、他教科や道徳とも関連させた題材を取り扱い、他教科での学びと外国語を関連付けながら学習することで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、インプットする「Let's Listen」から無理なくアウトプットする「Activity」につなげるなど、聞く・話す活動を中心に読む・書く活動も含めた言語活動を段階的に設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、「まなびリンク」を設け、音声や動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツを児童が活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Let's Watch」で表現への意欲を高め、「Let's Listen」で表現に慣れ親しみ、「Activity」で活用し、「Final Activity」では5領域全ての技能を高める活動が設定され、積極的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p66～69</p> <p>6 年 p80～83</p> <p>6 年 p16</p> <p>6 年 p78～85</p>

38 光村図書 出版	<p>(1) 単元の配列については、「You can do it!」の活動につながるように、世界の多様な文化に触れる「世界の友達」を設定するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Hop!」「Step」「Jump!」という段階を踏んだ流れで、「Step」では、聞く活動から徐々に「話す」「書く」「読む」活動へと進めたり、既習表現の活用場面を設定したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、単元の導入としてネイティブのナレーターによる音声収録されており、児童がイメージをつかみやすくすることで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Story」で見通しをもたせ、「Let's Try」で扱った話題を「Plus One」でさらに詳しく相手に尋ねるなど、補足的な活動が設定されており、児童が意欲的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p40, 41</p> <p>6 年 p74, 75 p76～79 p80, 81</p> <p>6 年 p14</p> <p>6 年 p74, 77</p>
61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 単元の配列については、「Pre Unit」で既習事項に触れ、複数の単元末の「REVIEW」で、学んだことを活用する活動を入れるなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Step 1」「Step 2」では、言語材料に慣れ親しむための語彙や表現のインプット活動と、慣れ親しんだ言語材料を使ったミニアウトプット活動を繰り返し設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) デジタル教材においては、紙面の語句などの発音を確認することができる「読み上げ」機能を児童が活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Watch the Scene」で会話に必要な学びの見通しをもたせ聞くことを重視した活動の中で多くの表現に慣れ親しんだ後、「Activity」において自由に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>6 年 p10～13 p46, 47</p> <p>6 年 p84～87</p> <p>6 年 p29</p> <p>6 年 p82, 83, 89</p>